日本光学会第3回常任幹事会

日　時：2002年3月15日（金）13：30〜17：00
場　所：機械振興会館6階65号室
出席者：岩田幹事長，以下18名
議　事：

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

・前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された．

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1)「光学」編集委員会報告

・「光学」の編集作業は順調に進捗している．
・50周年記念号CD-ROMに関してβ版が3月中に届き，とりまとめを行っている著者に校正してもらう予定．連休前に届くように準備を進めており，現在予定より3週間遅れで進捗している．
・学校や図書館など，また新会員に特典として配布できるかどうかを広報で検討の上，幹事会で提案することとなった．
・業務委託費について正式な契約書を交わすべきかどうかについては，岩井先生から編集局に打診をしてもらうこととなった．

(2)「OR」編集委員会報告

・順調に発刊しているが，投稿数は減少気味である．
・リジェクトされる論文も多く，質の低下が懸念される．
・現在委員等の役割が曖昧になってきて支障をきたしているため，抜本的な組織見直しを行い，組織の活性化を図りたいという意見が出た．

(3) 将来計画委員会報告

・正式には5月の幹事会で決定させることとなった．
・答申については公開する方向で検討を行い，その方法等につきさらに検討する方向で進めることとなった．
・学会内部の問題については，企画委員会（委員長は中島啓幾副幹事長）を発足させることになった．

2-2. 講演会関連報告

(1) ICOSN 2001報告

・人件費支出が増加，展示会・参加費収入が減少したため，次回以降は参加費値上げや宣伝を充実させる必要がある．

(2) 第35回光学五学会関西支部連合講演会報告

・47名の参加者があった．

(3) 平成13年度名古屋講演会進捗報告

・3月20日開催の予定である．
・「中部地区講演会」「名古屋講演会」と2つの名称が使われているが，今後「名古屋講演会」で統一することとした．

(4) 光学シンポジウム進捗報告

・順調に進捗している．
・招待講演・一般講演併せて24件で，ゆとりある構成とした．
・講演タイトルは3月下旬に，アブストラクトは4月26日以降にウェブに掲載予定．

(5) OJ 2002進捗報告

・第1回準備委員会を1月に開催した．

(6) ICO 2004準備委員会

・2月6日に準備委員会が行われた．
・会議のタイトルを「Optics & Photonics」とし，日本光学会主催で主体的に行う．
・日程は2004年7月13日から15日の3日間を予定している．

(7) 学術会議，工学共通基盤研究連絡委員会，光学専門委員会報告

・3月5日に第5回委員会が開催された．

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

・前回幹事会以降，5件の依頼があり，うち4件は承認した．残り1件は承認事項とする．

(2) 会員動静

・ほぼ増減はなかった．

(3) 資料室使用状況について

・今年度の利用実績が出された．
・光学会としてもっと積極的に使用してほしい．

(4) 資料室の契約更新について

・賃料を現状維持して更新した．

(5) ICO加盟進捗状況

・日本光学会について詳細を知らせてほしいとの連絡があり，ORの外国人投稿状況等の資料を含めて，石井先生が返答したところ，加盟に対して前向きな返答があった．

(6) 応用物理学会理事会報告

・IPAPへの理事派遣や準会員設立等の報告があった．
・準会員については，JJAP等のウェブ会員をイメージし

ている．

(7) Photonics Asia への協賛について

・「協賛する」との返事を行った．

・展示会で光学会のブースの割り当てがもらえるため，その窓口を防衛大の高橋先生にお願いすることとなった．

3. 審議事項

(1) 協賛依頼について

・光ナノテクフェアへの協賛に関しての審議があった．

・昨年の ICOSN 等でのかかわりもあることを踏まえ，協賛することが承認された．

(2) 入会のしおり

・入会のしおりが，実態に合っていないことから，新しい「入会のしおり」案が提案された．

・英語の表記方法や「分科会」の明記，日本光学会の存在意義の追加等の意見が出され，審議を継続することとした．

(3)「光学」編集委員長の任期について

・「光学」の編集委員長の任期は過去 2 年間であったが，負担が多いという理由から，3 年前に 1 年間になったという経緯がある．しかしながら，実際に運営してみると，スムーズな運営に支障をきたしているため，従来通りの 2 年間の任期に戻したい．

・副委員長の任期は 1 年とし，委員長については副委員長経験者の中から 2 年間を任期として選任する方向で，詳細を検討したいという意向が出され，承認された．

・移行期には，齟齬が生じる可能性があるが，4 年後には定常化するよう，幹事会と相談しながら進めていくこととなった．

・現在委員長は常任幹事，副委員長は幹事ではないが，副委員長も幹事会には参加できるようにするのはどうかとの意見が出た．

(4) 光学会メーリングリストの運用方法について

・光学会メーリングリストの運用方法の見直しに関する提案が出された．

・応用物理学会との関係もあり，引き続き検討することとなった．

(5) 事業計画・年間計画について

・平成 13 年度の事業報告・平成 14 年度事業計画が出された．

(6) 平成 13 年度収支決算・平成 14 年度予算案

・平成 13 年度収支決算・平成 14 年度予算に関する「光学」年次報告案が出され，承認された．

(7) 研究グループ活動報告

・時間不足で審議に至らず次回幹事会で審議することになった．

(8) 幹事選挙内規の改訂について

・幹事選挙内規の改訂案（1 月幹事会で提案されたもの）が出されたが，時間不足で審議に至らず次回幹事会で審議することになった．

(9) OJ 2002 の業務委託について

・業務全般を企画会社に依託する案が出され，承認された．

・「光学」綴じ込み経費負担，OHP，プロジェクター，タイマー購入については，次回の幹事会で審議することとなった．

4. 次年度への引き継ぎについて

・次回幹事会にもちこすこととなった．

次回幹事会は，5 月 10 日（金）13：30～　機械振興会館

第 166 回幹事会

2002 年 5 月 10 日（金）に機械振興会館地下 3 階 B3-1 号室において開催されました．「光学」「OR」の編集委員会報告，光学シンポジウム，サマーセミナー，3 次元画像コンファレンス，Optics Japan 2002，平成 13 年度名古屋講演会，ICO 2004 等の講演会関連の報告および審議，協賛依頼，会員動静，研究グループ会計報告，応用物理学会理事会報告，光学論文賞副賞変更，光学論文賞募集要項，奨励賞審査委員，幹事選挙改訂案，関西地区事業幹事増員，将来計画委員会答申書，交通費規定，OJ 2002 備品購入要望，入会のしおり改訂，50 周年記念 CD-ROM 利用案，次年度引継ぎ事項等について報告，審議がなされました．なお，詳しい幹事会議事録は第 31 巻第 9 号に掲載予定です．

平成 15 年度幹事立候補者募集

平成 15 年度新幹事選出（任期 2 年，毎年半数交代）の候補者として，本会の運営に熱意のある会員の方々の立候補を希望いたします．役員選挙その他に関する内規は本号 600 頁をご覧ください．立候補は自薦・他薦を問いませんが，他薦の場合は本人の承諾を必要とします．立候補照会および問合せは庶務幹事の塩川孝紳までお願いします．本年度は幹事会推薦者選考に費やす時間を考え，募集開始と締切りを早めました．立候補締め切りは平成 14 年 8 月 9 日（金）です．

旭光学工業（株）研究開発センター研究開発部
塩川孝紳
〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9
電話： 03-3960-7179　Fax： 03-5392-2049

E-mail: t.shiokawa@aoc.pentax.co.jp

平成14年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し，下記のごとく光学論文賞を贈っています．本論文賞は43年の歴史をもち，光学奨励賞とともに日本光学会の活動度を示す重要な指標の役目を果たしております．光学論文賞規定については本号598頁をご覧ください．平成7年度からの光学論文賞規定の改訂により，光学論文賞は公募に応じた自薦，他薦の候補者から選考されます．奮ってご推薦ください．

受賞対象者：原則として表彰の年に満40歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員であり，本年9月末日までの1年間に発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第1著者．詳細は光学論文賞規定をご覧ください．

提出書類： 候補者の氏名，会員番号，生年月日，満年齢（公募締切日における），勤務先，勤務先所在地，自宅住所，連絡先，推薦理由（自薦他薦を問わず，論文の特徴，すぐれた点等を400字程度でわかりやすく記す），候補論文別刷6部（コピー可，関連論文があれば2編以内でそれらの別刷またはコピーを1編につき6部ずつ添付），他薦の場合は推薦者の氏名，勤務先，勤務先所在地，連絡先．

書類提出期限： 平成14年10月31日（木）必着

提出先： 日本光学会庶務幹事　川田善正

〒432-8561 浜松市城北3-5-1

静岡大学工学部機械工学科

電話・Fax 053-478-1069

E-mail: kawata@eng.shizuoka.ac.jp

結果は「光学」第32巻第3号において発表されます．

日本光学会奨励賞選考委員

平成14年度第166回幹事会において日本光学会奨励賞選考委員案が提出され，下記のように決定いたしました．

委員長：岩井　俊昭（北大）

副委員長：一岡　芳樹（奈良工専）

委員：

岡本　隆之（理研）　岡嶋　克典（防衛大）

杉原　興浩（静岡大）　尾松　孝茂（千葉大）

千葉大学工学部助手公募

公募人員： 文官教官助手1名

分　野： 画像情報処理，VR，医用情報処理，視覚色彩情報処理等の研究教育および情報工学実験，計算機ソフトウェアの教育

所　属： 情報画像工学科計測情報工学教育研究分野（三宅洋一教授，津村徳道助教授在任）．

応募資格： 博士号をもち大学院修士，博士学生の研究指導も可能な方，年齢30歳以下が望ましい．

提出書類： 履歴書（写真貼付），業績リスト（原著論文，国際会議，国内会議，解説，著書別に記入），主要論文の別刷，着任後の研究計画（2000字程度），参考意見を求め得る方1〜2名

着任時期： なるべく早い時期

公募締切：平成14年8月30日（金）必着

書類提出・問合わせ先：

千葉大学工学部情報画像工学科教授　三宅洋一

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

電話・Fax：043-290-3261

E-mail: miyake@ics.tj.chiba-u.ac.jp

ホームページ: http://www.icsd6.tj.chiba-u.ac.jp

書類は書留にて郵送してください．

第203回「光学」編集委員会

2002年5月9日（木）に，(財)日本学会事務センター，学会共同編集室において開催されました．第31巻第12号・第32巻第1号企画，第32巻第2〜6号構想案について審議が行われました．また編集委員の専門分野，投稿規定ならび執筆要項，飛び込み解説記事等について審議がなされました．そのほか，臨時編集委員会，各号進捗状況，論文投稿・審査状況，会計，幹事会等について報告がなされました．

光設計研究グループ第26回研究会

テーマ：「アクティブ素子を用いた光学系」

日　時： 2002年7月26日（金）13：00〜17：30

場　所： 上智大学四谷キャンパス 7号館特別会議室

JR中央線，営団地下鉄丸ノ内線，営団地下鉄南北線「四ッ谷」駅下車，徒歩3分

プログラム：

1) 光ディスク基板厚ずれ球面収差のリアルタイム検出と自動補正

島野　健　（日立）

2) 液晶可変焦点レンズの結像光学系への応用

村田明子（オリンパス）

3) SIDMによる超小型光学ズームユニット

大澤　聡（ミノルタ）

4) バイナリオプティクスと液晶空間光変調器を用いた顔画像認識システム
小舘香椎子，渡辺恵理子（日本女子大）
5) 補償光学系を用いた網膜像撮影
山内泰樹（富士ゼロックス）
6) 天文学における補償光学技術
家　正則（国立天文台）

主　催：日本光学会（応用物理学会）光設計研究グループ

参加費：光設計研究グループ会員 3,000 円，光設計研究グループ学生会員 無料，一般 9,000 円，学生一般 2,000 円．
当日，受付にてお支払いください

定　員：150 名（定員になり次第締切ります）

参加申込：氏名（フリガナ），所属，住所，電話，Fax，参加区分（光設計研究グループ会員/学生会員/一般/学生一般）を記入の上，E-mail または Fax または郵送にて下記申込先にお送りください．申込書が必要な方は下記ホームページからも入手できます．

申込先：
NTT フォトニクス研究所複合光デバイス研究部
大庭直樹
〒 243-0198 厚木市森の里若宮 3-1
電話：046-240-3601　Fax：046-240-4523
E-mail: ooba@aecl.ntt.co.jp

問合せ先：(株)トプコン研究所　永野繁憲
〒 174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1
電話：03-3558-2563　Fax：03-3966-5054
E-mail: s.nagano@topcon.co.jp

ホームページ：http://www.opticsdesign.gr.jp/

(社)日本写真学会サマーセミナー 2002 参加募集

今回のサマーセミナーでは「本番を迎えたデジタル写真」をメインテーマとして，技術的側面とシステム的側面の両面から，これからの写真はどうなるかを考えます．技術的側面として，機器開発，画像利用，評価等さまざまな立場から，各分野の専門家の方々に講演をいただくことにしました．また，システム的側面として，パネルディスカッションにおいては，ディジタル写真が本当に主たる写真としての地位を得るに至るかどうかの踏み絵ともいうべき課題「非パソコンユーザーにデジタルカメラを使ってもらうには？」を議論します．

主　催：(社) 日本写真学会

協　賛：映像情報メディア学会，日本光学会，日本画像学会

会　期：2002 年 8 月 22 日（木）～8 月 23 日（金），1 泊 2 日

場　所：湘南国際村センター国際会議場
〒 240-1918 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39
電話：0468-55-1810　Fax：0468-55-1816
http://www.shonan-village.co.jp/~svc/

プログラム：

8 月 22 日（木）

13：10～15：50　デジタルカメラの撮像技術
A-1　Image Sensor with 3 Colors Per Pixel*
Allen Rush（フォビオン）
A-2　薄型カメラ DiMAGE X 用折り曲げ光学系
萩森 仁（ミノルタ）
A-3　デジタルカメラにおける高画質化撮像技術
福田英寿（オリンパス）

16：10～17：40　パネルディスカッション
「非パソコンユーザーにデジタルカメラを使ってもらうには？」
＜司会進行＞ 豊田堅二（武蔵野美術大）
＜パネリスト＞
・カメラユーザーの視点：内田　勲（フォトアドバイザー）
・メディアの視点：間島英之（アサヒカメラ編集部）
・プリントサービスの視点：村越　誠（フジカラーサービス）

18：30～20：30　フリーディスカッション ＆ 夕食

8 月 23 日（金）

9：00～11：40　さまざまな視点から
B-1　スペクトラルイメージングとその応用
津村徳道（千葉大）
B-2　読取り補助ソフトウェアを用いたデジタルカメラの解像度測定法
吉田英明（オリンパス）
B-3　博物館における調査・研究・展示とイメージング
―日本近世史研究の立場から―
久留島浩（国立歴史民俗博物館）

13：00～15：40　画像の利用技術
C-1　―交渉中―
C-2　デジタルカメラ撮影画像のプリント環境の動向について
深田重一（富士写真フイルム）
C-3　大規模画像コンテンツのための検索・ブラウジングシステム

廣池　敦（日立）

参加費：

聴講費：日本写真学会員・協賛学会員 25,000 円，非会員 30,000 円，学生・シニア会員 15,000 円

宿泊費：一律 15,000 円（計 3 食分の代金を含む）

*聴講のみ（宿泊無し）の受付は原則としていたしません．

申込締切：2002 年 7 月 22 日

申込方法：

・E-mail または郵便または Fax にて①申込日，②参加者氏名（ふりがな）・性別（男・女），③所属連絡先，④自宅連絡先，⑤参加費分類と合計金額，⑥参加費送金予定日，⑦会場までの交通機関予定（自家用車，電車・バス，その他），⑧喫煙について（㋐喫煙希望，㋑禁煙希望，㋒どちらでも可）の別をご記入の上，お送りください．

・申込書とは別に，参加者ごとに郵便局備付けの郵便振替用紙にて聴講費と宿泊費の合計金額を下記振込先に 7 月 22 日までに振込みをお願いします．送金は郵便振替に限らせていただきます．

郵便振替番号：00130-6-72818　日本写真学会

・整理の都合上振替用紙の通信欄に，下記をご記入ください．

a. 参加者氏名，所属，電話番号，および，E-mail アドレス，b. 聴講費分類とその金額，c. 宿泊費（15,000 円）との合計金額．

申込み・問合せ先：

〒 164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内

(社)日本写真学会　サマーセミナー係

電話：03-3373-0724，Fax：03-3299-5887

E-mail: spstj@pht.t-kougei.ac.jp

ホームページ：http://www.spstj.org

高臨場感ディスプレイフォーラム 2002 開催案内およびポスター発表/展示募集

本フォーラムは，従来から格段に高い臨場感，新しいインパクト映像表現の実現が期待される高臨場感表示に関するディスプレイ技術（HMD，立体視表示，超広画角高精細表示など），応用システム，映像コンテンツなどの最先端動向・展開を，実用化・産業的発展課題の視点も含めて提唱・議論する場を提供することを目的としています．昨年に引き続き，高臨場感ディスプレイフォーラム 2002 を下記要領で開催いたします．皆様のご応募，ご参加を是非お願いいたします．

期　日： 2002 年 11 月 13 日（水）

場　所： 工学院大学新宿キャンパス 3 階講堂

〒 163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2

「新宿駅」下車西口より徒歩 5 分

http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html

参加費： 無料（資料代のみ有料）

発表形態： 招待講演，およびポスター講演．講演関連および応募による機器展示も予定．

講演分野およびポスター発表/展示募集分野：

高臨場感表示に関する諸技術および映像コンテンツ

1) 臨場感表示に関するディスプレイ技術（HMD，立体表示，超広画角高精細表示など）
2) ヒューマンファクターおよび視覚以外のモーダリティーを使った提示システム
3) 応用システム，VR 技術
4) 映像コンテンツ，情報処理技術
5) 視覚，感性に関する技術

なお，応用システム，映像コンテンツ技術については，技術的な内容である必要はありません．

ポスター発表申込/問い合せ先：

電子情報通信学会ホームページ（http://www.ieice.org/jpn/toukou/kenkyukai.html）の研究会発表申込方法にしたがって，下記申込先へ電子メールにてお申し込みください．

NHK　奥井誠人

電話：03-5494-3204　E-mail: okui.m-im@nhk.or.jp

展示申込み/問合せ先：NHK　村上由紀夫

電話：03-5494-3283

E-mail: murakami.y-kc@nhk.or.jp

ポスター発表/展示申込み締切り： 2002 年 7 月 31 日

ポスター発表原稿締め切り： 2002 年 10 月 22 日

主催・共催：映像情報メディア学会（映像表現研究委員会，情報ディスプレイ研究委員会），画像電子学会（企画委員会），電子情報通信学会（電子ディスプレイ研究専門委員会），電気学会（電子デバイス技術委員会 高臨場感ディスプレイ調査専門委員会），日本バーチャルリアリティ学会

特別協賛（依頼中を含む）：光産業技術振興協会，科学技術振興会，リードエグジビジョンジャパン株式会社

協賛（予定を含む）：映像情報メディア学会（メディア工学研究委員会），電子情報通信学会（画像工学研究専門委員会），照明学会（環境適応ディスプレイ研究調査委員会），画像電子学会（多次元画像研究委員会），日本光学会（ホログラフィックディスプレイ研究会），SID 日本支部，三次元映像のフォーラム，日本映画

テレビ技術協会，日本液晶学会
全般的問合せ先：NTT　中沢　憲二（代表幹事）
電話：0422-59-7679
E-mail: nakazawa.kenji@lab.ntt.co.jp

「光学」4号　付録 CD-ROM 訂正

「光学界のひろがり」(「光学界の今とこれから」) の論文「干渉計測」において，4．2章の第1段落および第2段落が欠落してしまいました．欠落した本文は，「光学」4号本誌237ページを参照してください．該当本文中に含まれる，リンクの用語説明，「時間分解干渉法（time-resolved interferometry)」，および，「時間分解サニャック干渉計 (tine-resolved Sagnac interferometer)」については，キーワード検索から御参照ください．執筆者および会員各位にご迷惑をかけたことをお詫びいたします．(50周年記念企画実行委員長　筑波大学　伊藤雅英)

新入会員

個　人

会員番号		氏　名	所　属
B→A	6103311	藤川　卓之	(株)デンソー
A	6103313	柳沢美衣子	東京工業大学
	6103314	浪井　有紀	オリンパス光学工業(株)
	6103315	武山　哲英	オリンパス光学工業(株)
	6103316	田中　伸彦	(株)村田製作所
	6103317	田中　孝明	松下電器産業(株)
	6103318	桑田　宗晴	三菱電機(株)
	6103319	船越　久敏	北海道大学
	6103320	池中　清乃	コニカ(株)
	6103321	諸岡　優	オリンパス光学工業(株)
	6103322	大出　寿	オリンパス光学工業(株)
	6103323	田中　典子	オリンパス光学工業(株)
	6103324	飯島　稔	オリンパス光学工業(株)
	6103325	穂積　綱樹	オリンパス光学工業(株)
	6103326	松原　功	キヤノン(株)
	6103327	伊藤　真城	浜松ホトニクス(株)
	6103329	富樫　光宏	(株)サムスン横浜研究所
	6103330	三浦　雅博	東京医科大学
	6103331	高田　元生	日本電波工業(株)
	6103332	有賀　進	セイコーエプソン(株)
B	0022616	古橋　秀夫	愛知工業大学
	0035841	藤川　卓之	(株)デンソー
	0052290	村上　学	(株)東芝
	0057310	髙島　秀聡	北海道大学
	0058474	前田　圭逸	大阪市立大学
	0058523	下間　靖彦	京都大学
	0058551	村井佐知子	(株)三和総合研究所
	0058558	戸井田　孝	大日本印刷(株)
	0058626	野澤　玲子	旭硝子(株)
	0058696	杉井　正克	防衛庁
	0058705	古畑　均	パイオニア(株)

特別会員

会員番号	団　体　名
7100316	独立行政法人 産業技術総合研究所
7100317	金高堂外商センター

日本光学会 *news* の掲載申込み先：
〒321-3298 宇都宮市清原工業団地23-10　キヤノン株式会社光学技術研究所レンズ開発センター レンズ第1技術開発室　中井武彦　電話 028-667-5711 Fax 028-667-9486 E-mail: nakai.takehiko@canon.co.jp
なお，掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで，開催日が1〜10日の場合は，開催日の3か月前の15日までにお願いします．

日本光学会平成14年度幹事（*常任幹事）

幹事長：	山本　公明*（オリンパス）	
副幹事長：	黒川　隆志*（農工大）	中島　啓幾（早大）
前幹事長：	岩田　耕一（大阪府大）	
庶務幹事：	塩川　孝紳*（旭光学）	川田　善正*（静岡大）
	大瀧　達朗*（ニコン）	田中　賢一*（明治大）
	竹ノ内弘和*（NTT）	塚田　由紀*（交通公害研）
	中井　武彦*（キヤノン）	平井亜紀子*（産総研）
『光学』編集幹事：	岩井　俊昭*（北大）	三尾　典克（東大）
	加藤　純一（理研）	谷田　純（阪大）
『OR』編集・出版幹事：	一岡　芳樹*（奈良高専）	豊岡　了（埼玉大）
国際協力幹事：	山口　一郎（理研）	石井　行弘（能開大）
	大坪　順次（静岡大）	
将来問題担当幹事：	志村　努（東大）	岡　和彦（北大）
企画・事業担当幹事：	黒川　隆志（農工大）	梅田　倫弘（農工大）
	野崎　昭俊（コニカ）	仁科喜一郎（リコー）
	木村　茂治（日立）	篠原浩一郎（富士ゼロックス）
	岩瀬扶佐子（古河電工）	太田　淳（奈良先端大）
	志村　啓（日立ハイテクノロジーズ）	金子　寛彦（東工大）
	相津　佳永（室蘭工大）	佐藤　学（山形大）
	野村　俊（富山県立大）	鈴木　孝昌（新潟大）
	庄司　一郎（分子研）	西　壽巳（大阪工業大）
	早崎　芳夫（徳島大）	光永　正治（熊本大）

OPTICAL REVIEW 編集部　移転のご案内

OPTICAL REVIEW 誌の編集部は 2002 年 1 月 1 日より物理系学術誌刊行協会 (IPAP) に移転しました．原稿の投稿および論文状況などのお問合せは下記にお願いいたします．

物理系学術誌刊行協会（IPAP）OPTICAL REVIEW 編集部
〒105-0004 東京都港区新橋 6-9-6　12 東洋海事ビル 8 階
電話： 03-3432-4308　Fax： 03-3432-0728　E-mail: optrev@ipap.jp
URL: http://www.ipap.jp/